

AiCT入居企業や地元企業による取り組みを紹介

この実証の目的は…

基礎学力習得状況の見える化により、一人ひとりに合った指導の実現へ



この取り組みでは、子どもたちの学力の習得状況が見える化し、授業の進め方や個別指導、子ども本人の予習・復習に役立てることを目指します。

今回の実証事業では、その第一歩として、算数・数学の授業が終わるごとに、子どもたちに理解度を入力してもらい、教員や子ども本人へ通知しました。子どもの学習のつまづきを早期に発見し、一人ひとりに合った学習支援などを行いました。

実証事業のイメージ



①算数・数学の授業後に理解度を自分で入力する



②先生や子ども本人が、授業理解度を定期的に確認する



③理解度に応じて、先生が振り返り授業や個別指導を実施。また、子どもは予習復習に役立てる

実証事業をしている学校の先生の声

先生が生徒一人ひとりに目を行き届かせ、授業の理解度を把握していますが、集約に時間を要しており、長年の課題だと感じていました。この取り組みでは、子どもたちの理解度が手に取るように分かるので、先生の負担軽減や授業の改善につなげるとともに、子どもたちには計画的に勉強を進めるきっかけにしてほしいですね。



第二中学校
校長 小林 稔

この実証の目的は…

子どもの興味・関心の見える化により、将来やりたいことの発見へ



この取り組みでは、子どもたちの興味・関心が見える化し、内省をサポートすることで、夢の発見や大事にしたい職業観の育成につなげることを目指します。

今回の実証事業では、毎日、帰りの会などで子どもたちがその日の授業の興味・関心度を入力するとともに、これまでの自身を振り返るアンケート調査や、AiCT入居企業や地元企業の仕事・キャリア紹介により、将来やりたいことや職業選択を考える機会を提供しました。

実証事業のイメージ



①帰りの会などで授業の興味・関心度を自分で入力。また、科目以外の興味や価値観に関するアンケートを実施する



②キャリア教育授業を実施し、AiCTや地元企業で働く人の職業観や大切にしている想いを知る



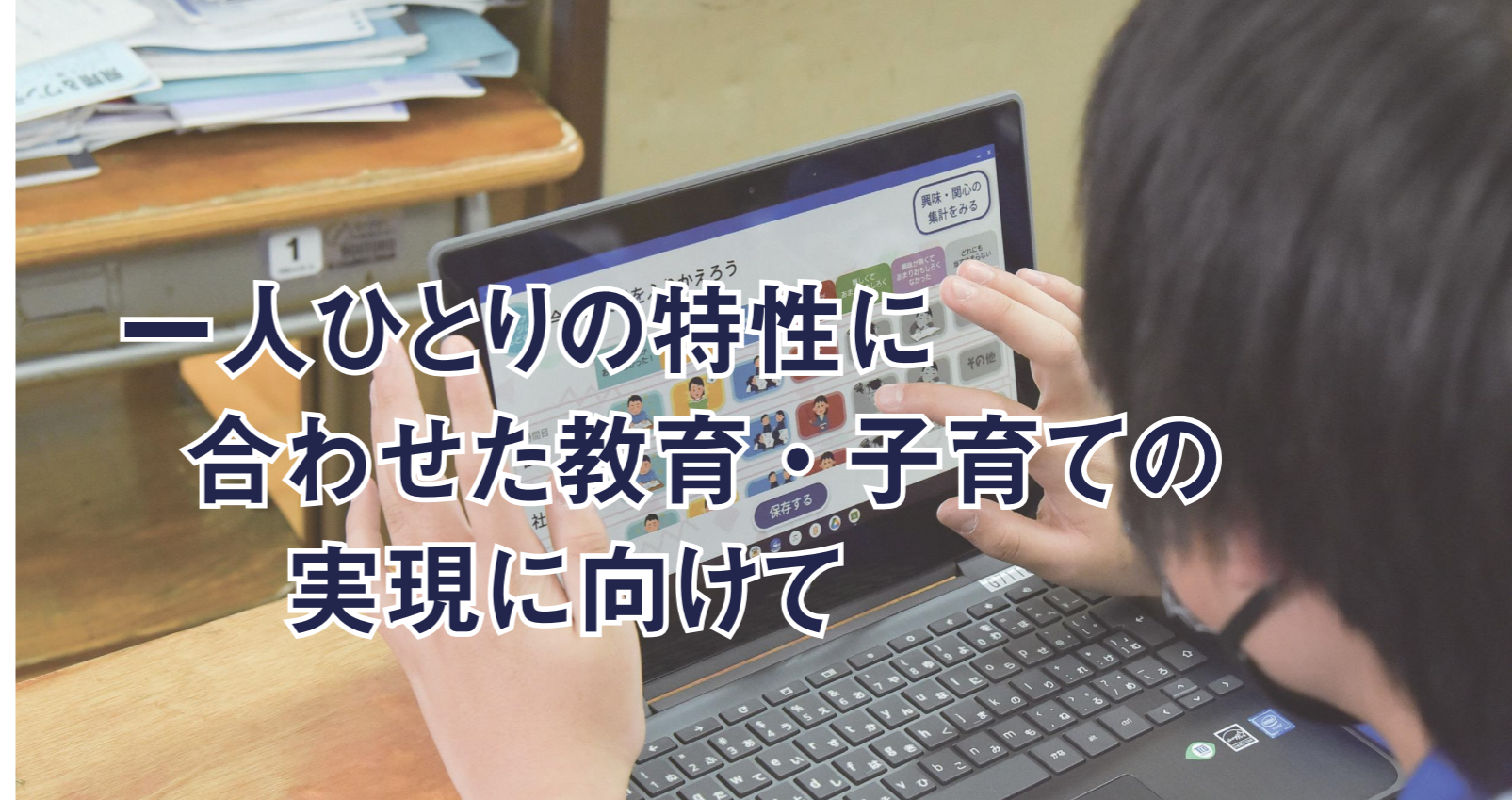
③自身の興味・関心や得意・不得意から、将来やりたいことや職業を選ぶ上で大事にしたい価値観を考える

実証事業を実施している事業者の声

一人ひとりの特性に合わせた教育・子育てを実現させるためには、まずは、子どもが「今、どういう状況なのか」「どんな特性を持っているのか」を、子ども本人や周りの大人が正しく理解する必要があると考えています。今後も市内の学校や地元企業の皆さんと一緒に、パーソナライズ教育や子育ての実現を目指していきます。



凸版印刷株
佐藤伸一さん



一人ひとりの特性に合わせた教育・子育ての実現に向けて

本市では、会津大学や地元企業、民間企業などと教育機関が連携し、一人ひとりの特性に合わせた「夢を実現させるための力」を育てる教育の実現を目指していきます。

こうした環境を整えるため、本市ではスマートシティAiCT（以下、「AiCT」）の入居企業と連携し、令和3年2月、第二中学校と鶴城小学校、東山小学校で、子どもたちの学力の習得状況や興味・関心が見える化し、個別最適な学習支援につなげる実証事業を行いました。ここでは、その実証事業での取り組みや、一人ひとりの特性に合わせた教育・子育ての実現に向けた考え方を紹介します。

教育・子育ての取り組みイメージ

デジタル技術を活用し、子どもたちの学習・生活・健康に関するデータを連携・統合・分析したり、保護者が子どもに関する情報をまとめて確認できたりすることで、学校や関係機関、地域、保護者が連携して教育や子育てができる環境づくりを目指します。

「一人ひとりの特性に合わせた夢を実現させるための力」を育てる教育の実現

